



学園だより

This Student Information Booklet contains a variety of useful information for Nagoya University students, including on-campus news as well as extracurricular activities.

vol.169

2016.11

CONTENTS

コラム / 特集① 全国七大学総合体育大会、東海地区国立大学体育大会 / トピックス

特集② 海外留学体験報告、インターンシップ体験報告 / 教育推進部の窓 / クラブ活動 / 伝言板 / 災害対策

COLUMN

美術とアナクロニズム

副総長 木俣 元一

私は「美術史」という分野を研究している。美術の歴史である。でも美術の歴史がどういうものか、なかなかイメージしにくい。美術における発展や革新の歴史と考えている人が多い。遠近法を使って奥行きのある空間を表現できるようになったり、写真みたいに「リアル」な描写ができる油彩画法が生みだされてきたりした過程をたどることだろうか。それではルネサンス以降のヨーロッパの美術くらいしか、研究の対象にならなくなる。せいぜいその影響を受けた一部の美術が加えられるだけだ。美術史という学問がルネサンスに生まれたことを考えると、ごく限られた美術に関する現象だけがその対象となるのも、けっして不思議ではない。

そんな中で「アナクロニズム」というキーワードで美術をとらえようという動きが、一部だがひろがりつつある。アナクロニズムは、一般に「時代錯誤」と訳される。歴史を専門とする者が犯してはならないタブーだ。たとえば、時代劇の武士がスーツを着てネクタイを結んでいたり、カール大帝が馬でなく自転車に乗っていたりするような例があげられる。各々が属する時代が互いに合っていないということだ。映画でいえば時代考証がなっていないということになる。

だが、それを美術にあてはめると、どうなのか。たとえばルネサンスに描かれた絵をバロックや近代に対応させてしまうと、大きな間違いを犯していると言われるだろう。でもよく考えてみよう。美術はそれが生み出された時代にだけ所属しているわけではない。江戸時代の武士やカール大帝が今は消えてしまったのはちょっと異なっている。つまり、ルネサンスの美術は、その後も残り続けており、ルネサンスだけでなく、それ以後のさまざまな時代にも属しているのである。

例としてふさわしいかわからないが、ダ・ヴィンチの《モナリザ》は、日本の小学生のほとんどが知っている。もうひとつ小学生がよく知っている作品が、ムンクの《叫び》だ。また《モナリザ》にはヒゲが落書きされたり、《叫び》の登場人物が人形になったりする。このように、《モナリザ》も《叫び》も現代世界の一部と言ってもさしつかえない。さしつかえないどころか、それが美術というもののとても重要な特徴と考えるべきだ。こんな角度から中世のキリスト教美術をとらえ直すのが、最近関心を持っていることである。

特集① 全国七大学総合体育大会

第61代名古屋大学体育会委員長 総評

東京大学主管で行われた第55回全国七大学総合体育大会は、ブラジル・リオ開催のオリンピックに先立って始まり、注目を集めた大会となりました。我々が名古屋大学はと言うと、強みである冬競技から素晴らしいスタートダッシュを決めたものの、夏競技では思うように順位が伸びず、一時は最下位にまで落ちましたが、徐々に点数を重ね総合5位という結果に幕を閉じました。

中には有終の美を飾った競技、悔しい思いをした競技と相反する感情を抱えているとは思いますが、一貫して言えることは大学間で行われた選手たちの交流は、これからの生活において掛け替えのない財産になるということです。

来年は名古屋大学が主管校であり、もちろん目指すべき目標は総合優勝であります。そのためには、各競技における各々の基礎的な体力の向上もそうですが、競技の枠を超えた「何としてでも優勝する」という選手一人一人の志と、それをサポートする体育会本部の運営能力が必要不可欠だと考えております。

七大学戦の運営は学生が主体であり、大会会場の確保から広報活動や開会式・レセプション・閉会式の企画まで名古屋大学体育会が管轄を行います。例年と比べ、より一層忙しくなると思いますが、体育会が丸となって先陣を切り、名古屋大学全体を挙げて七大学戦を盛り上げていきたいと思っております。

松尾総長をはじめとする名古屋大学職員の皆様、名古屋大学生協の皆様、一般社団法人学士会の皆様、お力添えのほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

七大学戦は1962年に第1回大会が行われてから現在まで引き継がれて、今年で第55回大会を迎えました。これからも途切れることなく七大学戦が運営し続けられますように、また、一段と皆様に愛される七大学戦となるよう1年間努力してまいります。

最後になりますが、主管校である東京大学運動会総務部の皆様をはじめとする七大学戦を支えてくださる関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

第61代名古屋大学体育会委員長 米田 一紀

◆◆◆◆◆ 第55回全国七大学総合体育大会成績表 ◆◆◆◆◆

競技種目	大学名		北海道大学		東北大学		東京大学(主管校)		名古屋大学		京都大学		大阪大学		九州大学	
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
アイスホッケー	2位	8	5位	3	1位	10	3位	6	6位	2	7位	1	4位	4		
スキー	不参加		1位	10	2位	8	3位	6	5位	3	6位	2	4位	4		
航空	7位	1	5位	3	1位	10	2位	8	3位	6	4位	4	6位	2		
バスケットボール	男子	3位	6	4位	4	7位	1	5位	3	6位	2	1位	10	2位	8	
	女子	6位	2	4位	4	7位	1	5位	3	1位	10	3位	6	2位	8	
ラクロス	男子	5位	3	6位	2	1位	10	2位	8	3位	6	4位	4	7位	1	
少林寺拳法	男子	5位	3	6位	2	1位	10	7位	1	2位	8	3位	6	4位	4	
硬式テニス	男子	2位	8	5位	3	1位	10	3位	6	4位	4	6位	2	7位	1	
	女子	1位	8	5位	2	2位	6	4位	3	6位	1	3位	4	該当なし		
ヨット	男子	6位	1	2位	6	4位	3	該当なし		3位	4	5位	2	1位	8	
柔道	男子	5位	3	3位	5	6位	1.5	3位	5	1位	10	2位	8	6位	1.5	
ラクロス	女子	7位	1	5位	3	2位	8	4位	4	3位	6	1位	10	6位	2	
剣道	男子	5位	3	1位	10	2位	8	6位	2	3位	6	7位	1	4位	4	
	女子	5位	3	1位	10	6位	2	3位	6	4位	4	7位	1	2位	8	
空手道	男子	5位	3	2位	8	4位	4	7位	1	3位	6	1位	10	6位	2	
	女子	2位	8	7位	1	4位	4	6位	2	5位	3	1位	10	3位	6	
競泳	男子	3位	6	6位	2	1位	10	7位	1	4位	4	2位	8	5位	3	
	女子	1位	10	7位	1	4位	4	3位	6	5位	3	2位	8	6位	2	
陸上競技	男子	6位	2	5位	3	1位	10	4位	3	6位	4	2位	8	7位	1	
	女子	5位	3	2位	8	6位	2	3位	6	4位	4	1位	10	7位	1	
バドミントン	男子	4位	4	3位	6	6位	2	7位	1	5位	3	2位	8	1位	10	
	女子	4位	4	1位	10	7位	1	5位	3	6位	2	3位	6	2位	8	
準硬式野球	男子	7位	1	2位	8	4位	4	6位	2	3位	6	1位	10	5位	3	
硬式野球	男子	4位	4	2位	8	1位	10	6位	2	5位	3	7位	1	3位	6	
バレーボール	男子	7位	1	1位	10	3位	6	5位	3	4位	4	2位	8	6位	2	
	女子	5位	3	3位	6	1位	10	4位	4	6位	2	7位	1	2位	8	
ハンドボール	男子	7位	1	4位	4	6位	2	1位	10	2位	8	3位	6	5位	3	
フencing	男子	該当なし		1位	6	2位	4	該当なし		3位	3	4位	2	5位	1	
水球	男子	該当なし		該当なし		1位	6	3位	3	4位	2	5位	1	2位	4	
馬術	男子	6位	1	4位	3	5位	2	1位	8	2位	6	該当なし		3位	4	
ゴルフ	男子	6位	2	5位	3	3位	6	4位	4	1位	10	7位	1	2位	8	
弓道	男子	1位	10	6位	2	3位	6	4位	4	5位	3	2位	8	7位	1	
	女子	2位	8	7位	1	1位	10	4位	4	6位	2	3位	6	5位	3	
相撲	男子	6位	1	1位	8	4位	3	2位	6	3位	4	5位	2	該当なし		
	女子	6位	1	1位	8	4位	3	2位	6	3位	4	5位	2	該当なし		
ソフトテニス	男子	4位	4	1位	10	5位	3	3位	6	6位	2	7位	1	2位	8	
	女子	3位	4	4位	3	該当なし		1位	8	6位	1	5位	2	2位	6	
アーチェリー	男子	7位	1	1位	10	2位	8	6位	2	4位	4	3位	6	5位	3	
卓球	男子	3位	6	2位	8	7位	1	4位	4	5位	3	1位	10	6位	2	
	女子	7位	1	2位	8	4位	4	3位	6	6位	2	1位	10	5位	3	
ソフトボール	承認団体	5位	2	1位	8	6位	1	3位	4	2位	6	4位	3			
自動車	男子	2位	8	3位	6	1位	10	6位	2	7位	1	4位	4	5位	3	
体操	男子	6位	2	不参加		3位	6	4位	4	1位	10	2位	8	5位	3	
総合得点	148		212		234.5		170		181		222		162.5			
総合順位	7位		3位		1位		5位		4位		2位		6位			

- 1位 東京大学 234.5 pt
- 2位 大阪大学 222 pt
- 3位 東北大学 212 pt
- 4位 京都大学 181 pt
- 5位 名古屋大学 170 pt
- 6位 九州大学 162.5 pt
- 7位 北海道大学 148 pt



参考:
 ・「該当なし」は、当該大学に体育会所属の運動部が無い場合をいい、該当団体数に含めない。
 ・「承認団体」は、大会規約により特に参加が認められた当該大学の体育会に所属していない団体をいい、該当団体数に含めず、順位及び得点はつかない。
 ・該当団体数に応じて順位と得点は異なる。該当団体数 7 の場合: (左から順に) 1位 2位 ... 10.864.3.21 該当団体数 6 の場合: 8.6.4.3.2.1 該当団体数 5 の場合: 6.4.3.2.1 該当団体数 4 の場合: 4.3.2.1

特集① 東海地区国立大学体育大会

第65回東海地区国立大学体育大会 -男子優勝、女子4位-

第65回東海地区国立大学体育大会(東国体)が、5月から7月の土・日曜日に開催されました。本大会は、東海地区(愛知県・岐阜県・三重県・静岡県)の8つの国立大学が運営している伝統ある体育大会で、参加大学が輪番で複数の競技の運営を担当する分散開催方式を採用しています。

今年度は豊橋技術科学大学が幹事大学となり、男子20種目、女子14種目が実施され、出場した選手達は、東海地区の国立大学ナンバーワンの座をかけて全力でプレーし、梅雨空を吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。

総合成績では、本学は男子が優勝、女子が4位という結果に終わりました。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 第65回東海地区国立大学体育大会成績結果一覧 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

競技種目	大学名	豊技大		静岡大		浜医大		愛教大		三重大		名古屋大		岐阜大		名工大		備考
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
男子	1 陸上競技	7位	2.0	4位	5.0	-	0.0	1位	10.0	3位	6.0	2位	8.0	5位	4.0	6位	3.0	浜医大不参加 委員会後(当日)
	2 水泳	7位	2.0	5位	4.0	8位	1.0	3位	6.0	4位	5.0	1位	10.0	2位	8.0	6位	3.0	
	3 硬式野球	5位	2.0	1位	8.0	/	/	3位	4.5	5位	2.0	3位	4.5	2位	6.0	5位	2.0	3,4位区別無し 5位以下順位無し
	4 準硬式野球	5位	2.5	1位	10.0	5位	2.5	3位	5.5	3位	5.5	5位	2.5	5位	2.5	2位	8.0	3,4位区別無し 5位以下順位無し
	5 硬式テニス	5位	2.5	2位	8.0	5位	2.5	5位	2.5	3位	6.0	1位	10.0	5位	2.5	4位	5.0	5位以下順位なし
	6 ソフトテニス	5位	2.5	2位	8.0	5位	2.5	1位	10.0	4位	5.0	5位	2.5	3位	6.0	5位	2.5	初日雨天中止
	7 バスケットボール	6位	1.0	5位	2.0	/	/	3位	4.0	4位	3.0	/	/	2位	5.0	1位	6.0	
	8 バレーボール	8位	1.0	2位	8.0	5位	4.0	1位	10.0	7位	2.0	4位	5.0	3位	6.0	6位	3.0	
	9 卓球	-	0.0	3位	5.0	/	/	4位	4.0	2位	6.0	1位	8.0	5位	3.0	6位	2.0	豊技大不参加 委員会後
	10 バドミントン	4位	5.0	1位	10.0	7位	2.0	8位	1.0	5位	4.0	3位	6.0	2位	8.0	6位	3.0	
	11 サッカー	4位	5.0	-	0.0	1位	10.0	5位	3.0	6位	3.0	3位	6.0	2位	8.0	7位	3.0	静岡大不参加 委員会後
	12 ハンドボール	/	/	6位	1.0	/	/	1位	6.0	5位	2.0	3位	4.0	2位	5.0	4位	3.0	
	13 柔道	-	0.0	3位	4.0	/	/	4位	3.0	5位	2.0	1位	6.0	2位	5.0	/	/	豊技大不参加 委員会後
	14 剣道	5位	2.5	4位	5.0	5位	2.5	1位	10.0	5位	2.5	3位	6.0	2位	8.0	5位	2.5	5位以下順位無し
	15 空手道	/	/	3位	4.0	5位	2.0	6位	1.0	4位	3.0	1位	6.0	2位	5.0	/	/	
	16 弓道	5位	2.0	1位	8.0	5位	2.0	/	/	4位	4.0	3位	5.0	5位	2.0	2位	6.0	5位以下順位無し
	17 体操	/	/	3位	3.0	/	/	-	0.0	/	/	1位	5.0	2位	4.0	-	0.0	愛教大,名工大不参加 委員会後
	18 馬術	/	/	4位	2.0	/	/	4位	2.0	3位	4.0	4位	2.0	2位	5.0	1位	6.0	4位以下順位無し
	19 アーチェリー	/	/	3位	3.0	/	/	2位	4.0	1位	5.0	5位	1.0	4位	2.0	/	/	
	20 少林寺拳法	/	/	2位	3.0	/	/	/	/	4位	1.0	1位	4.0	3位	2.0	/	/	
合計得点		30.0		101.0		31.0		86.5		71.0		101.5		97.0		58.0		
男子順位		8位		2位		7位		4位		5位		1位		3位		6位		

競技種目	大学名	豊技大		静岡大		浜医大		愛教大		三重大		名古屋大		岐阜大		名工大		備考
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
女子	1 陸上競技	/	/	5位	3.0	7位	1.0	1位	8.0	3位	5.0	2位	6.0	4位	4.0	6位	2.0	
	2 水泳	/	/	4位	4.0	5位	3.0	1位	8.0	6位	2.0	3位	5.0	2位	6.0	7位	1.0	
	5 硬式テニス	/	/	1位	6.0	2位	5.0	3位	4.0	4位	3.0	6位	1.0	5位	2.0	/	/	
	6 ソフトテニス	/	/	1位	8.0	5位	2.0	4位	4.0	5位	2.0	2位	6.0	3位	5.0	5位	2.0	5位以下順位無し
	7 バスケットボール	5位	2.0	1位	6.0	/	/	3位	4.0	4位	3.0	-	0.0	2位	5.0	/	/	名大不参加 委員会後
	8 バレーボール	/	/	3位	4.0	/	/	1位	6.0	-	0.0	4位	3.0	2位	5.0	5位	2.0	三重大不参加 委員会後
	9 卓球	/	/	3位	5.0	6位	2.0	5位	3.0	7位	1.0	1位	8.0	2位	6.0	4位	4.0	
	10 バドミントン	/	/	3位	5.0	6位	2.0	5位	3.0	1位	8.0	4位	4.0	2位	6.0	7位	1.0	
	12 ハンドボール	/	/	3位	2.0	/	/	1位	4.0	-	0.0	/	/	2位	3.0	/	/	三重大不参加 委員会後
	13 柔道	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	競技中止
	14 剣道	/	/	3位	5.0	5位	3.0	1位	8.0	4位	4.0	2位	6.0	-	0.0	-	0.0	岐阜大,名工大不参加 委員会後
	15 空手道	/	/	4位	3.0	2位	5.0	6位	1.0	1位	6.0	5位	2.0	3位	4.0	/	/	
	16 弓道	-	0.0	3位	5.0	6位	2.0	/	/	2位	6.0	1位	8.0	4位	4.0	5位	3.0	豊技大不参加 委員会後
	17 体操	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	競技中止
19 アーチェリー	/	/	1位	5.0	/	/	2位	4.0	3位	2.0	3位	2.0	3位	2.0	/	/	3位以下順位無し	
20 少林寺拳法	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	オープン競技	
合計得点		2.0		61.0		25.0		57.0		42.0		51.0		52.0		15.0		
女子順位		8位		1位		6位		2位		5位		4位		3位		7位		

※男子の陸上競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため、8大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※男子の卓球競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため、7大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※男子のサッカー競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため、8大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※男子の柔道競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため、6大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※男子の体操競技については、第2回運営委員会後に2大学が辞退したため、オープン競技とはせず、4大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※女子のバスケットボール競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため、6大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※女子のバレーボール競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため、6大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※女子のハンドボール競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため、オープン競技とはせず、4大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※女子の柔道競技については、第2回運営委員会後に3大学が辞退したことにより、参加大学が1大学のみとなったため、競技を中止した。 ※女子の剣道競技については、第2回運営委員会後に2大学が辞退したため、7大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※女子の弓道競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため、7大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。

トピックス

就職業務について

教育推進部学生支援課

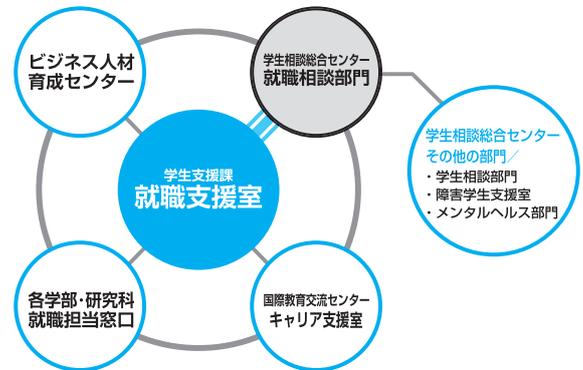
本学では、就職希望者に対して様々な就職ガイダンスやセミナーを開催しています。就職活動に対するレクチャーを受ける絶好の機会ですので、ぜひ参加して下さい。

開催予定は学内の掲示板やホームページ、メールマガジンなどで、日程や内容を確認して下さい。イベント参加予約は、名古屋大学ポータル「就職支援タブ」または就職支援室にて受け付けています。

なお、本学学生生活委員会及び就職支援担当グループの指導・助言の下に、教育推進部学生支援課及び各学部・研究科に就職担当者を置き、皆さんの就職活動が円滑に進められるように、就職情報の収集、求人情報の提供、卒業・修了者の就職先の把握など、就職指導の任に当たっていますので、お気軽にご相談ください。

また、求人票や企業選択のための資料は、下記の場所で閲覧できます。

大学内には悩みや疑問を一緒に解決できる場所もあります。就職関係や進路について、何かヒントが欲しい時には是非上記の部局にお尋ねください。



学部・研究科等	係 等	内線番号	就職資料設置場所
教育推進部学生支援課	就職支援室	2176	学生支援課内就職支援室（工学部7号館B棟）
文 学 部	文系教務課教務グループ（文）	2206	文系総合館1階及び講義棟男子トイレ横掲示板
教 育 学 部	文系教務課教務グループ（教育）	2606	文系総合館1階
法 学 部	文系教務課教務グループ（法）	2317	
経 済 学 部	文系教務課教務グループ（経済）	2357	
国際開発研究科	文系教務課教務グループ（国際開発）	4957	
国際言語文化研究科	文系教務課教務グループ（国際言語）	4881	
情報文化学部	教務学生係	4823	SIS インフォメーションコーナー
理学部・理学研究科・多元数理科学研究科	教務学生係	2808	各学科事務室及び教務学生係
工 学 部	教務課学生支援係	3599	各学科・専攻事務室及び教務課就職資料コーナー
農 学 部	教務学生係	4010	農学部講義棟2階教務学生係ロビー
環境学 研究科	大学院係	4272	就職資料コーナー（環境総合館3階ラウンジ）
情報科学 研究科	大学院係	4721	SIS インフォメーションコーナー
医学部（保健学科）	教務学生係	1518	教務学生係
医学系 研究科	大学院係	2431	学務課大学院係（就職資料コーナー）
創薬科学 研究科	創薬科学研究科事務室（教務担当）	6775	創薬科学研究館1F 情報コーナー
国際教育交流センター	キャリア支援室	6768	国際教育交流センター（国際棟）107号室

『就活サポーター』始まる - 頼りになる先輩が就職活動を支援します -

就活サポーターの活動とは、就職活動を終え希望の進路を獲得した先輩が、これから就職活動を始める後輩の支援をする活動です。

苦勞して内定を得た貴重な体験をもとに、毎年、12月ごろから自分たちの卒業直前まで、就職活動生の迷いや悩みにこたえながら、効果的な情報収集のしかたなどのアドバイスを通じて、就職活動を応援します。

就活サポーターは男性・女性、文系・理系、学部生・大学院生、企業内定者・公務員や教員内定者など様々です。気軽に訪れているような質問をすることで自分らしい進路をつかんでください。活動の詳細については **Facebook** 又は **Twitter** からチェックできます。

平成28年度の活動

■ 活動場所：教育推進部学生支援課就職支援室（工学部7号館B棟）

■ 活動内容：個別に相談を受け付けています。

希望の方は、下記の連絡先または就職支援室窓口にお問い合わせください。

連絡先：NUshusapo2017P@gmail.com

※最新のイベント等は下記の Facebook、Twitter ページにてご確認ください。

【Facebook】名大就活サポーター @meidaishusapo 【Twitter】@syuusapo2017



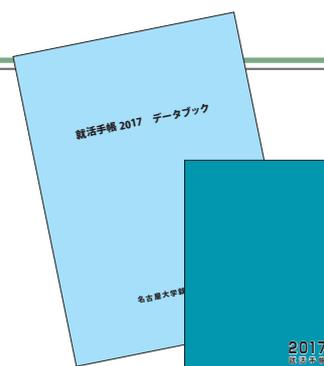
Facebook



Twitter

必携『就活手帳2017』及び『就活手帳2017データブック』

学部3年生、博士課程前期課程1年生向けに『就活手帳2017』及び『同2017データブック』を発行しました。名古屋大学の就職活動支援や、就職活動の進め方、2016年3月に卒業・修了した先輩の就職先に関する資料など、ためになる情報が掲載されています。就職支援室及び所属学部・研究科の教務担当係で配布中です。ガイダンス等の情報も載っていますので、是非入手して就職活動に役立ててください。

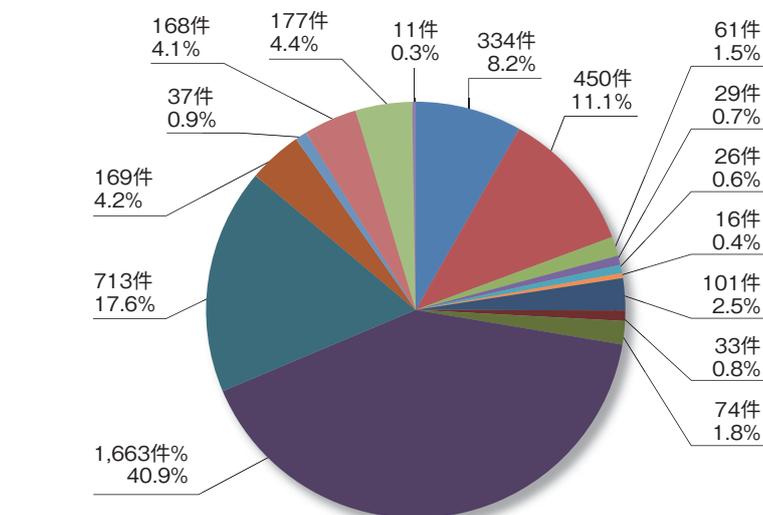


就職支援室メールマガジンに登録しよう！

就職支援室では、就職支援メールマガジン配信により、就職ガイダンスや合同企業説明会、インターンシップ情報など、就職活動やインターンシップに役立つ情報をリアルタイムで学生の皆さんにお届けしています。まだ登録を行っていない方は、下記URLまたはQRコードからメールマガジンに是非、登録しましょう(携帯電話の機種によっては、うまく表示されないことがあります)。名古屋大学ポータルサイト「就職支援室」タブ内メールマガジン登録画面より是非、登録しましょう。 <https://portal.nagoya-u.ac.jp/>



◆ 就職支援室利用状況／就職支援室来室アンケート ◆



「目的別」集計グラフ

<平成27年10月～平成28年9月>

「学部・研究科別」集計データ

学部・研究科	人数			計	
	人数	(男性)	(女性)		
文	文学部	280	121	159	359
	文学研究科	79	23	56	
教	教育学部	102	32	70	122
	教育発達科学研究科	20	3	17	
法	法学部	227	156	71	250
	法学研究科	23	19	4	
経	経済学部	327	177	150	337
	経済学研究科	10	9	1	
国開	国際開発研究科	78	19	59	78
国言	国際言語文化研究科	48	10	38	48
情文	情報文化学部	146	69	77	146
理	理学部	190	133	57	453
	理学研究科	263	174	89	
多元	多元数理科学研究科	67	57	10	67
	工学部	372	325	47	915
工	工学研究科	543	503	40	
	農	農学部	116	48	68
生命農学研究科		213	96	117	
医	医学科	0	0	0	114
	保健学科	65	3	62	
	医学系研究科	49	14	35	
環	環境学研究科	167	136	31	167
情報	情報科学研究科	146	131	15	146
創薬	創薬科学研究科	31	14	17	31
不明	学部・学科不明	3	1	2	3
合計		3,565	2,273	1,292	3,565

「目的別」集計データ

回答	件数	割合
就職に関する相談	334	8.2%
OB・OG名簿の閲覧	450	11.1%
先輩の就活レポートの閲覧	61	1.5%
新聞・雑誌等の閲覧	29	0.7%
求人票・企業パンフレットの閲覧	26	0.6%
公務員試験情報の閲覧	16	0.4%
説明会・イベントの申込	11	0.3%
説明会・イベントチラシの閲覧	33	0.8%
適性検査の受検	74	1.8%
就職相談員への予約・実施・取消	1,663	40.9%
就職図書・DVDの貸出・返却	713	17.6%
インターンシップに関する相談	169	4.2%
インターンシップに関する情報収集	37	0.9%
就活サボ相談(就活中の学生)	168	4.1%
就活サボ相談(就活サポーター)	177	4.4%
その他	11	0.3%
合計	4,062	100.0%

「月別」集計データ

集計月	人数			累計
	人数	男性	女性	
平成27年 10月	169	110	59	169
11月	138	88	50	307
12月	164	103	61	471
平成28年 1月	272	175	97	743
2月	383	260	123	1,126
3月	468	300	168	1,594
4月	357	234	123	1,951
5月	283	170	113	2,234
6月	379	223	156	2,613
7月	421	229	192	3,034
8月	279	196	83	3,313
9月	252	185	67	3,565
合計	3,565	2,273	1,292	

特集② 海外留学体験報告

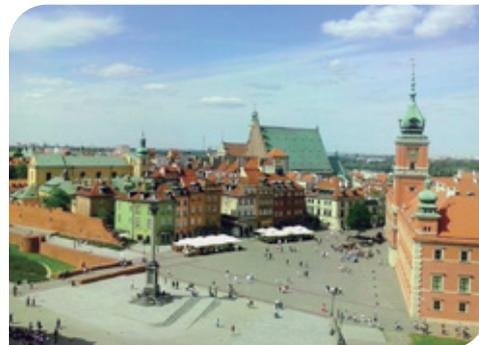
交換留学 | 学びたいこと+生活環境でポーランドを選択

1年生次にドイツへ3週間留学し、外国語でコミュニケーションをとる楽しさと難しさを知ったことから、異文化コミュニケーションについて深く学ぶためにヨーロッパに長期間住んでみたいと思うようになりました。ポーランドを選んだ理由は、英語で開講されている授業が多い、ヨーロッパの国の中で物価が安く生活しやすそう、親日国であり日本文化と日本語への人気が高いなどからです。

大学の雰囲気は自由で学生たちが真面目という印象です。英語を話せる学生もあまり話せない学生もいましたが、助けを求めればみんな助けてくれます。授業ではわからない所をそのままにせず毎回復習し、難しい授業では内容を録音するようになっていました。授業内容そして周りの学生のレベルが明らかに自分より高いと感じた授業は、教授に助けをもらいながら、最後まで自分なりに努力することで単位を取得することができました。寮は2人部屋です。留学生がたくさん住んでいたのでもキッチンで偶然会うときに話したり、休日に一緒に出掛けたりしてだんだん仲良くなりました。

留学を通して自分の精神が強くなったと感じていますので、多少の困難にあっても安定した気持ちで立ち向かえるという自信ができました。今後の進路は民間企業への就職を考えています。留学先で一緒に過ごした友達や一つ一つの出来事をしっかりと忘れずに、すべての経験をこれからの人生で生かしていきたいです。

ワルシャワ大学 (2015.9-2016.6)
文学部3年 浅野 愛美



全学教養科目特別講義 | ウズベキスタン体験記



(2016.8)

理学部1年 大栗 鷹基

現地の学生たちに混ざり講義に参加した中で、感じたことがあります。それは、「私たちはみな同じ人間だ」ということです。私たちは往々にして、「日本人」、「ウズベク人」という風に人種を区別しがりますが、現地の学生たちは私のつたない英語をじっと目を見て聞いてくれて、理解しようとしてくれました。もちろん私も同じようにしました。

「言葉の壁」という表現がありますが、その壁は両側から叩けばすぐ壊れます。お互いを理解したいという気持ちが大切なのです。そうして気持ちが通じたとき、「その話、面白いね!」ってなったとき、私たちはもう「日本人」とか「ウズベク人」ではなくなると体感しました。

いま、世界では悲しいことが起きています。海外へ赴いて現地の方々と交流した経験が、このような現実と真摯に向き合い「それはおかしい」と言える力になると私は信じています。

特集② インターンシップ体験報告

インターンシップを終えて

8月29日から9月9日までの10日間、三菱電機名古屋製作所においてインターンシップに参加させていただきました。三菱電機名古屋製作所では工場の自動化システムなどに使われるFA製品を製作していて、それらの国内シェアはトップクラスにあります。私がインターンシップに参加した理由は、このように高い技術力と信頼性を持つ製品を作る現場において、技術者がどのように議論を行い、ものづくりが行われていくのか体感したいと思ったからです。

インターンシップ期間中は品質保証課に配属させていただき、品質保証における製品の信頼性試験を行いました。客先環境を想定した上で製品を様々な環境下におき、正常に動作するかどうか、発火や腐敗の危険性がないかどうかを綿密に調べます。こうして劣化や故障要因について定量的に評価することで、お客様に自信をもって提供できる製品を作り上げていることを学びました。

職場のみなさんの時間管理方法や情報共有の仕方は、やはり大学の研究室とは違う点が多く見えました。新しい研究成果を出すために時間をかけて進める研究とは違い、よりよい製品を迅速に作り上げていることを感じました。課の社員の方は様々な委員などに属し、それぞれの仕事や役割を持ちながら多くの会議に参加しつつ情報共有をもしっかりと行う点は、今後の研究生活にも生かしていきたいと思いました。また、インターンシップ期間中は社員の方々が就職について相談に乗って下さったり、同じインターン生と毎日のようにご飯を食べ話したり、人との繋がりが多くできました。就職活動において、先輩や仲間と情報交換や相談ができることは非常に大切なことだと思うので、この繋がりを大切にしたいと考えています。

10日間を通して得た経験や人との繋がりは、インターンシップに参加しなければ得られない貴重なものであったと思います。自身のやりたいことや就職活動のやり方など不鮮明に感じていた部分に、見通しをたてることができました。もし今、インターンシップに参加するか悩んでいる方がいらっしゃいましたら、参加を強くお勧めします。就職前に職業体験ができる限られた機会をぜひ生かしてみてください。

最後に、インターンシップでお世話になった三菱電機の社員の皆様にも心より御礼申し上げます。

理学研究科博士課程(前期課程)1年 堀田 彩



教育推進部の窓

ごみの全学一元回収・処理

環境安全衛生管理室

本学では平成12年4月から「ごみの全学一元回収・処理」を実施しています。その中で、現在一般廃棄物（ごみ）を22項目に分類し、分別回収・処理を行い、学内から排出される一般廃棄物（ごみ）の減量化・再資源化に取り組んでいます。

また、平成12年10月1日から、これまでの「古紙・紙ごみ再資源化」をさらに一歩進め、全ての古紙・紙ごみについて全学一元回収を行い、再資源化を図っています。これにより名古屋大学から排出されるコピー用紙・シュレッダーごみ等の古紙類については、学内リサイクル古紙としてトイレトーパー等に資源化処理されます。

ゴミの減量化、分別回収・処理を行うことは、事業所としての大学の社会的責任であり、また循環型社会形成への意識改革、教育研究における安全性の確保、地域社会の環境保全、環境教育の具体的実践とも関連します。ご理解の上、ごみ減量化と、キャンパス環境の美化にご協力をお願いします。

分別回収にご協力を！

ごみの分類

1. 可燃ごみ
2. 不燃ごみ
3. かん
4. びん
5. ペットボトル
6. 牛乳パック
7. 発泡スチロール
8. 食器トレイ
(発泡スチロール製)
9. 新聞紙
10. 広告・チラシ類
11. コンピュータ用紙
12. 段ボール箱
13. ファイル類
14. 雑誌・書籍
15. コピー用紙
16. 機密書類
17. シュレッダーごみ
18. 紙片・葉書・封筒・ノート類
19. 蛍光灯
20. 乾電池
21. 粗大ごみ
(事業系資源ごみ等)
22. 厨芥ごみ

名古屋大学ごみ減量化宣言

名古屋大学の構成員は、教育研究活動の結果排出される一般廃棄物（ごみ）の発生を抑制（reduce）するとともに、分別回収を行い、その再利用（reuse）、再資源化（recycle）に努め、廃棄物の資源化、減量化を促進することは大学としての社会的責任であることを自覚し、全学一元化方式による分別回収・処理を推進する。

（「名古屋大学一般廃棄物（ごみ）回収・処理のためのガイドライン」より抄録）

● 一般廃棄物（ごみ）の分別と回収方法

- 1) 名古屋大学では、一般廃棄物（ごみ）を左のように22項目に分類し、分別回収を行います。
- 2) 学内共通部分から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、かん、びん、ペットボトルは学内共通ごみ回収容器による回収とします。
- 3) 研究室など屋内から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、かん、びん、ペットボトルは指定ごみ袋回収とします。
- 4) 学内共通ごみ回収容器（屋外及び屋内）からのごみは環境指導員が回収しますので、回収容器の種類に従って分別してください。
- 5) かん、びん、ペットボトル、牛乳パックは生協にも分別回収容器が設置されていますので、利用してください。
- 6) 古紙も10種類に分けて、分別回収を行います。
- 7) 蛍光灯、乾電池は、それぞれ集中分別回収のためコンテナとドラム缶を設置しています。
- 8) 平成28年10月から新たに粗大ごみの分類中に「事業系ごみ」の区分を設け、回収を行いません。

● ごみ袋の種類と回収

- 1) ごみ袋は、次の5種類の名古屋大学指定ごみ袋とします。
(1) 可燃ごみ [レモンイエロー (赤色文字) 袋]、(2) 不燃ごみ [レモンイエロー (緑色文字) 袋]、(3) かん [透明袋]、(4) びん [透明袋]、(5) ペットボトル [透明袋]
- 2) ごみ袋は学内指定集積場において指定日時の即日回収となります。
- 3) ごみ袋には排出責任者が分かるように、必要事項を必ず記入してください。

● 環境指導員（ごみパトロール隊）の巡回指導

学内に環境指導員室を設置し、ごみの分別回収についての巡回指導を行います。

● 一般廃棄物（ごみ）についての相談

環境指導員室 …… 内線 4530 (外線 052) 789 - 4530)



教育推進部の窓

ハラスメントのないキャンパスにするために

心のつぶやきを
私たちに
聞かせてください。

「ハラスメント」は多くの場合NO!と言えない状況で起こります。
つらい思いをしているあなたは、決して悪くない。
もしひとりで悩んでいるのなら、私たちに聞かせてください。
専門カウンセラーが今後の対策について一緒に考えます。
もし今現在、問題に直面していなかったとしても「ハラスメント」を正しく知って理解してください。
大学生活を豊かなものにするために、大切なことです。

セクシュアル・ハラスメント

【定義】

性的な言動により相手に苦痛や不利益を与えることをいいます。
セクシュアル・ハラスメントに当たるかどうかは、相手が不快に思うかどうかが重要視されます。

- たとえば・・・
- ある研究室では、いつも数人の学生が集まり、大声で卑猥な話をしている。他の学生はこのようなことを聞かされるのが嫌で、研究室を利用する時はいつも苦痛に感じている。
- 先輩の告白を断ったが、先輩から執拗にメールや電話の連絡があり、困っている。
- 2人で飲みに行こうと誘われたが、断ると、翌日から相手の態度が豹変した。

アカデミック・ハラスメント

【定義】

教育、または研究上の優位な立場を利用した不当な言動により、相手に苦痛や不利益を与えることをいいます。アカデミック・ハラスメントに当たるかどうかは、行為者の主観的な意図に関わらず、客観的な判断が重要視されます。

- たとえば・・・
- 教員が指導の際に、学生の能力や人格を否定するような発言を繰り返したり、長時間にわたって威圧的な説教をする。
- 研究室に早朝から深夜までいることや、泊まりでの実験を強制し、休日を一切とらせない。
- 「論文を通さない」「卒業させない」と毎日のように学生に言い、学生がストレスで体調を崩してしまった。



【定義】

職務遂行上の優位な立場を利用した不当な言動により、相手に苦痛や不利益を与えることをいいます。パワー・ハラスメントに当たるかどうかは、行為者の主観的な意図に関わらず、客観的な判断が重要視されます。

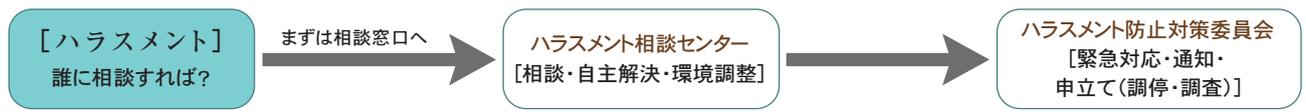
- たとえば・・・
 - 多数の者がいるところで罵倒する。
 - 意図的に必要な情報を与えない。
 - 不正・違法行為を強要する。

このように、権限を利用した不適切な言動により相手の意欲を低下させたり、環境を悪化させることはハラスメントに該当すると考えられます。

✿ ハラスメントをなくすために.....

ハラスメントを受けてしまったら	ハラスメントを受けている人から相談を受けたら	加害者にならないために
<ul style="list-style-type: none"> ●不快であるという意思表示をしましょう。 ●その場から離れましょう。 ●上に述べたような行為ができなかったとしても、不快な気持ちは大切にしましょう。そして、心の中にため込まずに書き出してみてください（記録は迅速な解決につながります）。 ●信頼できる人に相談してください（友人、教員など）。 ●相談センターを利用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●話をよく聞いてあげてください。 ●相談センターに行くことを勧めてあげてください。 ●相談センターを利用してください（第3者からの相談も受け付けています）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の意思を尊重し、相手が不快に感じる言動は繰り返さないようにしましょう。 ●自分は気に留めないようなことでも、人によって受け取り方は異なります。自分の持つ力や優位な立場にいることを意識しましょう。 ●感じた事を率直に言い合える良好な関係・環境をつくることを心がけましょう。 ●自分の言動は、自分や家族がもし同じことをされても平気か、また、自分の家族かそばにいても同じことができるか考えてみましょう。

✿ 相談の流れ.....



- 面接**
- 専門の知識を持った相談員と一緒に解決方法を考えます。
 - 相談員には守秘義務があります。安心してお話しください。
- 環境調整**
- 相談者の同意の下で、修学・就労環境などを改善するために関係者に協力を求めます。ハラスメント相談センター長の判断により行われます。
- 緊急対応**
- 相談者の同意の下で、相談者の保護のために迅速な対応が必要である場合に関係部局長に協力を求めます。ハラスメント防止対策委員長の判断により行われます。

- 通知**
- ハラスメントの相談を受け付けたことを相手方である構成員等に通知することがあります。ハラスメント防止対策委員長の判断により行われます。
- 申立て**
- 調停と調査があります。
 - ハラスメント相談センターは、相談者がハラスメント防止対策委員会へ申立てを行うサポートをします。

【名古屋大学 ハラスメント相談センター】

- 開室時間は月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00です。
- 電話・FAX・Eメールによる相談の受け付けをします。

名古屋大学 ハラスメント相談センター
 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 工学部7号館B棟2階
 TEL/052-789-5806 FAX/052-789-5968
 E-mail/h-help@adm.nagoya-u.ac.jp http://www.sh-help.provost.nagoya-u.ac.jp

- 鶴舞分室：毎週火曜日（祝日を除く）開室中
 - 大幸分室：第2・4木曜日（祝日を除く）開室中
- 詳しくは、HPをご確認ください。



※地下鉄「名古屋大学」駅3番出口 徒歩約3分

教育推進部の窓

全学教育科目の授業評価アンケート

教養教育院 副院長(質保証担当) 栗本 英和

教養教育院では、前期と後期それぞれの学期末に、開講された全学教育科目の授業について、受講生を対象にアンケート調査を行っています。設問は8つの全科目共通設問と、各科目独自に設定された複数の設問とからなっています。集計結果は、教養教育院のWebページ(<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/inner/>)に掲載されますので、ご覧ください。とくに、学習の満足度の目安となる、

問4 この授業を通して知的な関心、学習の手がかり、もしくは達成感が得られましたか。

①あてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない

について科目全体の集計結果を経年で比較したものが右図です。平成10年には、肯定的な評価(①と②の合計)が約52%でしたが、平成27年度も昨年に続き85%を超え、高い水準を維持しています。一方、学習の到達度の目安である「問3 この授業で設定された学習内容を理解できましたか」も3年間85%を超えています。これらの学修成果は学生自らが積極的に取り組んだ結果であり、「問2 この授業に意欲的・自発的に取り組むことができましたか」も4年間85%以上を維持しています。

本アンケート調査は学生の皆さんの取組を振り返る機会と同時に、授業改善のための貴重なデータとなっております。今後とも調査へのご協力をお願いします。

回答の内訳(年間)



クラブ活動

囲碁部

みなさん「囲碁」をご存知ですか。囲碁とは互いに石を置いていき、自分の石で囲んだ部分の大きさを競うゲームです。最近ではアルファ碁や、井山裕太さんが囲碁の七大タイトルを独占したなど囲碁の大きなニュースによって、名前を聞いた人もいられるかもしれません。

囲碁部では週二回、学生会館にある部室に集まって部員同士で切磋琢磨しています。また、定期的に合宿や大会があり、他大生との交流もおこなっております。興味のある人は是非、一度部室にいらしてください。



硬式庭球部

硬式庭球部は男子約30名、女子約10名で活動しており、その中には全国大会に出場する者から大学に入ってから本格的にテニスを始めた者まで様々なレベルの選手がいます。そのようなチームが男子も女子も「七大戦優勝」という目標を掲げ、男子は週5回、女子は週3回練習に励んでいます。

硬式庭球部は現役部員とOBOGの先輩方との交流も盛んで年に3回の交歓会が開かれています。自分たちだけではなく多くのOBOGの方々や関係者の方々の期待を背負って、来年の名古屋大学が主管の七大戦では数年ぶりの王座奪還を果たすことができるように部員一同今後より一層練習に励んでまいります。応援よろしく申し上げます。





伝言板

全学教育棟サブラボについて

教養教育院

全学教育棟サブラボ(A,B)は、情報メディア教育センターが学内各所に設置したサテライトラボの一つで、全学教育棟の本館中央棟2階に設置されています。サブラボのパソコンから情報メディア教育システムを利用することができます。

○設備

◆ サブラボA

学生用パソコン104台(うち車椅子用2台)、
教員用パソコン1台、プリンタ1台

◆ サブラボB

学生用パソコン28台(うち車椅子用2台)、
教員用パソコン1台、プリンタ1台

○開放期間

授業期間内(土曜・日曜・祝日、
名大祭、年末年始、入学試験前日
及び当日等は閉室)※夏季・冬季休
業中の開放は、別途お知らせします。

○開放時間

講義を除く月曜日～金曜日午前
8時45分～午後7時30分※午後4時
30分から午後7時30分まではサービ
ススタッフが在室します。

○その他

全学教育棟本館では講義室はもとより、学生ホール、
セミナーラウンジ等において無線LANを使用することがで
きますので、各自が持参したパソコンにより、情報メディア
教育センターを経由してインターネットに接続が可能です。

教養教育院のホームページについて

教養教育院

教養教育院ではホームページを公開しています。全学教育科目の履修登録等に関する情報を「お知らせ」に随時掲載していますので、十分注意してください。また、「学内専用」(学内からのみアクセス可)では、授業アンケート結果を閲覧できます。

教養教育院ホームページ <http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp>

授業料免除申請手続きについて

教育推進部学生支援課

経済的理由により授業料の納入が困難で、かつ、学業優秀と認められる場合又は、特別な事情(風水害等の災害を受けた場合等)により授業料の納入が著しく困難であると認められる場合は、納入すべき授業料の全学または半額が免除されることがあります。

この制度の適用を受けるためには、授業料免除申請が必要となり、申請手続きは、原則として年1回の前期分・後期分同時申請で行っています。申請に関する手続き時期等の詳細については、各学部・研究科及び教養教育院に掲示でお知らせしますので、十分注意してください。

平成29年度日本学生支援機構奨学生の募集について

教育推進部学生支援課

日本学生支援機構の奨学生の募集については、春(3月中旬)に掲示等でお知らせします。奨学金貸与希望者は、所属学部・研究科及び教養教育院の掲示等に十分注意してください。

平成29年度民間奨学財団奨学生等の募集について

教育推進部学生支援課

民間奨学財団および地方公共団体の奨学金募集は、本学のホームページ <http://www.nagoya-u.ac.jp> (トップページ→教育/キャンパスライフ→各種免除制度・奨学支援→民間奨学財団奨学金・地方公共団体奨学金)で随時お知らせします。

募集は、前年度後期から始まり、3月～5月に集中しています。学部が指定されるものもありますので、詳しくは各学部の掲示板に注意してください。

災害対策

名古屋大学の防災体制

名古屋大学では、様々な自然災害や緊急事態に備えて、教職員による対応体制、非常対応のルール、建物・機器や食料・医薬品などを準備して、防災訓練を定期的に行っています。学生のみなさんも自分の安全を守るように、日ごろから準備をしてください。

◆ 地震などの緊急時の対応

10月下旬の地震防災訓練では、全学一斉の地震対応と避難訓練を行いました。特に「緊急地震速報」に続いて「安全確保行動」をとり、教職員の指示に従って建物近くの「一次避難場所」に移動し、「避難者確認」を行う、という一連の流れをぜひ身につけてください。火災や事故・事件などの場合もほぼ同様で、大勢が避難する場合は落ちついて行動することが重要になります。

各建物には「自衛消防隊」があり、非常時の避難誘導や消火・救護などを行います。最初の危険を避けて避難した後は、自衛消防隊や「災害対策本部」の指示に従い、建物への再度の立入りや帰宅の場合は、安全に関する情報を確認してください。

「安否確認」は、まず緊急連絡用メールの指示により行います。避難した後でなるべく当日中に入力してください。夜間や休日の災害で安否を大学に伝えることが特に重要です。システムが使えない場合はほかの手段で大学に連絡をしてください。休講など大学からの情報は、緊急連絡用メールのほか、ホームページ、SNS、掲示等で公開されます。

◆ 気象災害の対応

今年は台風への接近・上陸が多く、甚大な被害を出しました。台風は予報が出されるため、気象情報に注意すればある程度の対応ができます。一方、集中豪雨のような急激な気象災害は、直前まで十分な予報が出せない場合もありますが、現在の気象状況や被害の情報はすぐに得られるようになってきました。これらの防災情報を適切に判断して、危険な状況を回避しましょう。

名古屋大学のルールでは、台風等で名古屋市内に「暴風警報」が発令された場合は、授業等は原則中止としています。午前または午後の授業開始2時間前までに暴風警報が解除されれば、そのあとの授業は実施します。暴風警報以外の警報が発令された場合や、交通機関の混乱や外出の危険などがあれば、各自の判断で自宅待機（授業担当教員に申し出が必要）、あるいは大学にいる場合は無理な帰宅を避けて学内で待機することも考えてください。

◆ 準備

様々な災害を想定して、個人の準備がとて大切になります。それをまとめると、災害に関する知識、身を守るための行動、そしてそれらを支える情報や機材の準備などになります。ここでは2点だけ説明します。「災害時の情報」については、スマートフォンなどにより多くの情報が災害時に得られるようになりました。避難所などで充電+Wifiが提供される場合もありますが、予備のバッテリーなどを持つことも大切です。「備蓄食料」について、全員が1日食べるだけで数万食になるため、非常時の食料は限定された災害対策担当者や帰宅困難学生等の分のみしかありません。皆さんのカバンに1食分、研究室やゼミで全員分の非常食料などを準備し、分散備蓄を心がけましょう。



伝言板 (2)

自転車の盗難防止・走行上の注意について

教育推進部教育企画課

学内において、自転車盗難の犯罪が増加しています。駐輪する際は短時間であっても必ず施錠をし、鍵も二重ロック（ツーロック）にするようにしてください。自転車窃盗犯の約70%がツーロックされている自転車は盗まないと言っています。

なお、当然のことですが、他人の自転車を無断で使用する行為は犯罪行為です。自転車の窃盗は、刑法第235条の「窃盗罪」であり、10年以下の懲役50万円以下の罰金が科せられます。警察に検挙された場合、必ず書類送検され、さらに、本学からは学則に基づき懲戒処分が課せられることがあります。絶対に行わないでください。

また、自転車走行上の注意として、東山キャンパス周辺は、坂の多い地形ですので、特に下り坂でのスピードの出し過ぎや一時停止の無視等により、歩行者や他の車両との事故を起こさないよう、十分に注意してください。たとえ自転車でも、歩行者に接触すると命にも関わる大事故につながりかねません。周囲に配慮した、優しい走行を心がけてください。

ゴミ出しはルールとマナー守って

教育推進部教育企画課

名古屋市では、各家庭から排出されるゴミは、種類毎に分別し、指定された曜日・時間・場所に出すことになっています。

名古屋市内で下宿生活を送っている学生は、地域の一員としてこのゴミ出しルールに従い、ルールとマナーを守ってゴミを出すようにしてください。

分別していないゴミは、処理できず放置される原因にもなります。

ゴミの出し方（種類の分け方）がわからないときは、各区の環境事業所、又は町内会の保健委員の方に尋ねるようにしてください。

なお、学内に家庭ごみや粗大ごみを持ち込んで投棄することは、不法投棄ですので絶対に行わないようにしてください。本学では、不法投棄を発見した場合、警察への通報などの対応をとっています。

メールアドレス登録についてのお願い

教育推進部基盤運営課

本学では、災害時の連絡を含め、大学からの緊急・重要な連絡に電子メールを活用しています。

緊急時の連絡を徹底するためには、全構成員の登録が必要となりますので、趣旨・使用目的をご理解いただき、名古屋大学ポータル（「キャンパス」タブ）よりメールアドレスを入力してください。なお、すでにメールアドレスを登録された方は、登録されたメールアドレスに誤りがないか確認いただき、メールアドレスの変更があった場合には、再度入力をお願いします。

【※登録されたメールアドレスの使用目的】

- ・情報セキュリティ ・インシデントに関する緊急・重要事項の連絡及び対応の要請 ・大学の管理・運営等に係る緊急・重要事項の連絡
- ・災害発生時の安否確認に関する連絡